

「秋高連の旗」 創作・設置

目 次

作成までの経緯

三校からの候補デザイン

在京秋田県高等学校同窓会連合会旗

秋高連旗の創作とお披露目

県高校教育課の三校推薦書簡

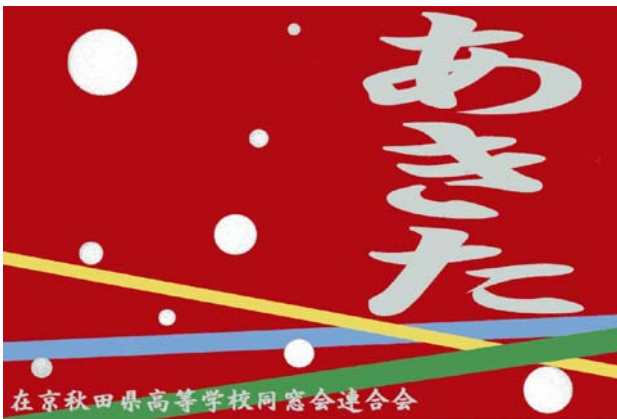
秋高連旗創作・設置の書簡

秋田県旗との類似性確認書簡

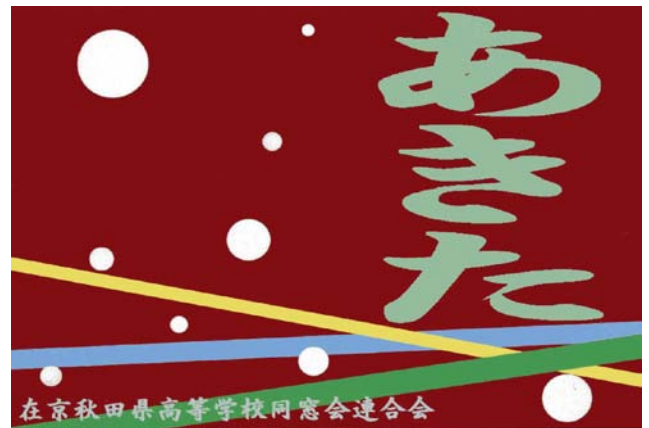
作成までの経緯

18. 1. 1 「秋高連の旗」創作・設置を決定・承認
19. 2. 15 県高校教育課 福田主幹兼班長への書簡
「秋高連の旗」グラフィック・デザイン（図案）作成担当高校（3校程）の被推薦依頼
19. 2. 22 県教育課からの推薦
能代西高等学校、 秋田南高等学校、 仁賀保高等学校
19. 3. 15 県高校教育課 福田主幹への書簡
*能代西高、秋田南高、仁賀保高の3校に製作依頼
*作成締め切り 19.5.18、
送付先は会長代行 柴田 秀二宛
*詳細問合せ先
会長代行 柴田秀二氏及び副幹事長 能見京子氏
19. 5. 17 3校作品が「秋高連の旗」担当柴田会長代行及び能見副幹事長両氏に到着
19. 6. 1 委員会にて各高校からの候補作品をアンケート調査実施、
*各校2作品の6作品に付き、秋高連全委員にアンケート、
仁賀保高校 NO5 が選抜された。
19. 6. 8 この結果を参考に「秋高連の旗」図案に付き業者「アート創美」と調整
19. 6. 15 「アート創美」から最終図案候補数点の開示、決定
19. 6. 17 県高校教育課 風登主幹への書簡
「秋高連の旗」と「秋田県の旗」の相似性に付いての確認依頼
19. 6. 26 業者発注
19. 7. 16 完成引渡し

三校からの候補デザイン



NO 1 能代西高等学校



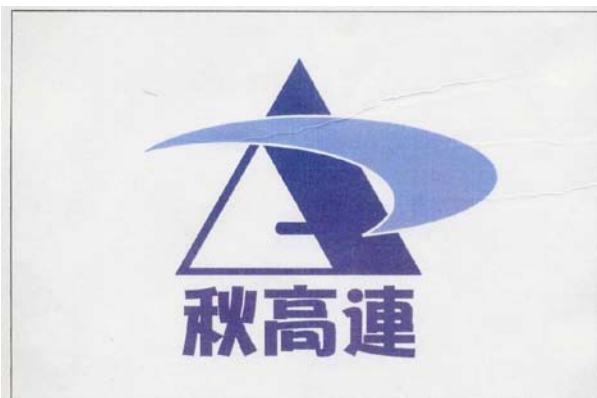
NO 2 能代西高等学校



NO 3 秋田南高等学校



NO 4 秋田南高等学校



秋高連の頭文字であるアルファベットのAと片仮名のアの字を
図案化。Aは故郷秋田の山を表し、アはそこに伸びやかにかかる
雲を表現しているが、あわせて、東京という地で確固とした志
をもって在る秋田出身同窓生諸氏の地に足をつけている姿と、
そのような中にも秋田で生まれた豊かで闊達な心があることを
曲線で表しながら、それらが諸氏連携の下に日本の中心から伸
びやかに広がっていく様を構成したものである。

NO 5 仁賀保高校



秋田県の花である秋田蓼の葉を重ねて構成する
ことを通して、秋田の地で育まれた、秋田蓼の
ように大きく広い豊かな心を重ね合わせなが
ら、東京の地で団結している秋田県出身の同窓
生諸氏の姿を表したものである。

NO 6 仁賀保高校

在京秋田県高等学校同窓会連合会旗



在京秋田県高等学校同窓会連合会

秋高連旗デザインの由来と経緯

3校の「作品・図案創作」の中からアンケート調査第1位の仁賀保高校の作品からマークを採用。そのマークを旗の左上部に据える。他の2校の作品を参考に、旗の下部に（横長）に「在京秋田県高等学校同窓会連合会」の字体を明示。旗地全体に（やや明るい）濃緑色を選定。調整・調和を重ねる。その結果、3校の作品の縦糸と横糸との妙で合作・融合し「秋高連の旗」が誕生した由来であり、経緯である。

県高校教育課の三校推薦書簡

平成19年2月22日

在京秋田県高等学校同窓会連合会
会長 友成穂秀様

秋田県教育庁高校教育課
福田世喜

「秋高連の旗」創作に関するご相談の件

拝啓 寒さの中にも早春の息吹が感じられるこの頃ですが、会長様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃から本県の事業や高校教育に多くの御支援をいただき、また、先日は「きてたんせ」等の情報を提供していただきまして誠にありがとうございます。

さて、御依頼がございました「秋高連の旗」図案創作の依頼校についてですが、次の3校を御推薦いたします。

能代西高等学校 秋田南高等学校 仁賀保高等学校

なお、3校の美術科の教員には、高校教育課から連絡をし内諾を得ております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

敬具

秋田県旗との類似性確認書簡

平成 19 年 6 月 17 日

秋田県教育庁 高校教育課
主幹 風登 森一 様

在京秋田県高等学校同窓会連合会（秋高連）
会 長 友成穂秀
会長代行 柴田秀二
幹 事 長 畠山信孝
T/F(046)256-6361

「秋高連の旗」創作・設置等に関するご意見お伺いの件

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日本列島は梅雨期に入って参りました。平素は秋高連の運営・活動にご理解、ご助力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、秋高連にとりましては念願の「秋高連の旗」を作製の為、業者に発注する直前の段階にまで差し掛かって参りました。

就きましては、「秋高連の旗」創設を決定・承認後、その「図案創作」に思案して参りました。斯様な時期に、前主幹 福田 世喜 様にご相談申し上げましたところ「秋高連の旗の図案創作」に県下の3つの高校（能代西高、秋田南高、仁賀保高）の美術科をご紹介戴きました。5月下旬、三校から「図案」が郵送されて参りました。早速、「全図案」の第一次採用候補としまして6点を選択しました（同封の NO.1/2：能代西高。NO.3/4:秋田南高。No.5/6:仁賀保高）。その6点を当秋高連の全委員で第二次的にアンケート調査を実施しました。NO.5が圧倒的な人気でした。

その結果、NO.5の図案（マーク）を中核に、図案・製作者と検討・調整を重ねましてNO.7が誕生しました。概ね、NO.7の作品で実物の「秋高連の旗」を作製しようか、という直前まで議論が詰まりました。

業者に発注する前に、是非ともご助力戴きたい件があります。それは、秋高連としましてはNO.7の図案を「秋高連の旗」の製作に採用します場合、図柄のマークが「秋田県の旗」と類似性が濃いのでご遠慮願いたい、というお考えを持たれるかどうかの一点を、然るべき（所管担当部署）に照会の労をおとり下されたく、お願い申し上げる次第です。

誠に当方の都合ですが、今月 25 日（月）までにご連絡を右上の幹事長宛（T/F）に頂戴できますれば幸甚に存じます。順調に参りますれば翌 26 日に業者に製作の発注を致しますと、来る 7 月 17 日の「平成 19 年度秋高連全体総会・講演会・懇親会」の開催当日に「秋高連の旗」も一緒にお披露目が可能になります。

どうか、上記の経緯とスケジュールに鑑みましてご高配の程伏してお願い申し上げますと共に吉報をお待ち申し上げます。

敬具

秋高連旗創作・設置の書簡

平成 19 年 6 月 28 日

秋田県教育委員会
教育長 根岸 均 様
FAX(018)860-5851

在京秋田県高等学校同窓会連合会（秋高連）
会 長 友成穂秀
会長代行 柴田秀二
幹 事 長 畠山信孝
T/F(046)256-6361

「秋高連の旗」創作・設置の確定に関する件

拝啓 概ね空梅雨の日々ですが、教育長 根岸 様に於かれましてはご壮健にて教育行政にご精励のこととお慶び申し上げます。

平素は、秋高連の運営・活動にご理解とご協力を賜わりまして誠に有難うございます。

さて、お陰を持ちまして今年、当秋高連は創立 23 年目を迎えることが出来ました。

予てより、「秋高連の旗」を創作・設置致したいとの会員の要望が有りましたが、この度、その要望が叶えられました事をご報告申し上げます。

「秋高連の旗」創作・設置の難問は、「秋高連の旗」の「図案創作」にありました。その「図案創作」に就きまして、今春、前主幹・福田世喜様にご相談致しましたところ、県下の能代西高校、秋田南高校、仁賀保高校の各美術科をご推薦戴きました。直ちに「図案創作」のご依頼を致しましたところ、5 月下旬には 3 校から、何れも甲乙を付けがたい伸びやかで、落ち着いた素晴らしい作品が届きました。ここで「難問」はほぼ解決致しました。早速、鳩首検討の結果、今月 26 日には製作者者に製作の発注を致す事が出来ました。来る 7 月 17 日開催の「平成 19 年度秋高連全体総会・講演会・懇親会」にて「秋高連の旗」のお披露目が可能となりました。斯様な幸運は教育長・根岸様、主幹・風登様、前主幹・福田様等のご高配とご尽力に拠り実現致した慶事と幾重にも感謝申し上げます。

発注図案を添えまして、ご報告とお礼のご挨拶を致すのが本筋と存じますが、何時の日にか実物をご高覧戴きましてご感想を頂戴致したく、先ずは「秋高連の旗」が創作・設置の運びとなりましたことを報告致しまして、感謝申し上げます。

では、秋田県教育委員会の益々のご発展と教育長・根岸 均 様のご健勝を祈念申し上げます。

敬具